

2021年国民春闘勝利 安全・安心の鉄道と社会を作ろう 3.11国労西日本総行動



国労西日本

国労西日本本部

NO. 307

発行責任者 森田 文一
編集責任者 片岡 有宏

国労西日本HP



国労西日本 検索

誰にでも優しい安全・安心の鉄道に

職場から春闘を、闘いの中で仲間を増やそう

社員を希望する契約社員は採用を

3月11日15時30分より、JR西日本本社前・JR貨物関西支社前行動を開催し、250名の組合員が結集した。西日本本部・貨物協・各地方本部の決意表明がされ、JR西日本・貨物に対して、満額回答を求め、西日本本社・貨物関西支社に、横断幕によるアピールを行った。

JR西日本本社前・JR貨物関西支社前行動は、中野副委員長長の司会で始まり、森田委員長



は、「JR西日本には、内部留保である利益剰余金が連結で7680億円、単体でも5140億円もあり、私たちの切実な要求に応える体力は十分ある。客貨一体となって21春闘を勝利しよう。」と訴えた。

その後、本部佐々木副委員長のあいさつ、藤野副委員長長の西日本交渉経過報告、関西貨物協議会、各地方本部の決意表明が行われ、「内部留保の切り崩しで満額回答を。そして、駅の無人化・列車減便・ローカル線問題等の安全・サービスの低下、労働条件の改善」など訴えた。

植田書記長の行動提起は、「西日本会社に対して、満額回



答を求める要請行動を強めていただきたい。また、予想される回答に対し、西日本・貨物会社に対し行動を強めるとともに21春闘勝利に向け、職場・地域から奮闘してもらいたい。」と訴えた。

最後に、大北執行委員が、春闘要求、横断幕でのアピール、団結ガンバローを熱い思いを込めて行った。

国労西日本本部

森田執行委員長決意表明要旨



金が連結で7680億円、単体でも5140億円もあり、私たちの切実な要求に応える体力は十分あります。

今春闘はコロナ禍における収入の大幅な減収、さらに最大労組がベア要求を見送るといった異例の状況での春闘となつていますが、厳しい時であるだけに闘いで情勢を切り開くという労働組合としての真価が問われる春闘です。

日本経済は、マイナス成長となりました。大幅賃上げを占める個人消費を引き上げ、内需を拡大していくことです。JR西日本は、昨年同期末手当を1・19か月分削減し、業務量減少に伴いテレワーク、在宅勤務、一時帰休を導入するなど、各種手当を削減した結果、人件費を224億円削減しています。感染リスクをおいながら、働いている労働者の労苦に報いるため、今こそ、この間、ため込んできた巨額の内部留保を赤字の補填と株主への配当金だけに使用するのはなく、働く者の生活と、雇用を守ることに活用することこそ企業の社会的責任です。JR西日本には、公表内部留保である利益剰余

社長は、2月18日の会見でローカル線の運営についてLRTへの転換や廃止によるバス転換なども視野にいれ、見直す考えを示しました。鉄道は社会のインフラ、生活基盤であり、地域住民の足です。赤字を理由に廃止することは許されません。「誰にでも優しい安全・安心の鉄道」を追求し、社会インフラ企業としての使命を果たすことを強く訴えるものです。

5月採用の契約社員からの社員採用試験は合格者が2割に満たないという結果です。社員になることを目標に業務に精励し、契約更新を繰り返してきた方々をいとも簡単に切り捨てることは、コロナ禍での人件費抑制のための雇用の調整弁としか言いようがありません。「社員となることを希望する契約社員は全員を採用」してこそ雇用を守るということではないでしょうか。コロナ禍だからこそ大幅賃上げで日本の経済を再生しようの要求を高く掲げ、「職場から春闘を闘い、闘いの中で仲間を増やす」取り組みを全ての組合員が総決起し、2021年春闘を最後まで闘い抜くことを呼びかけます。



佐々木副委員長 (本部)

本部は、3月3日に政党内閣を組織し、春闘中央総決起集会を開催し、弁護士に

決意表明

国労は内部留保を切り崩すだけで国労要求の額は出せると言っていたが、会社は、今日まで基準昇給・ベア・期末手当の実施の有無を明確にしている。



藤野副委員長

会社はコロナ禍による赤字を理由に厳しいと言っている。

交渉報告



後藤副委員長 (北陸) 宣伝行動・現場長申入れ・職場集会など春闘勝利に向け、奮

闘をしよう。金沢支社は、ワンマン化拡大。駅の無人化

働きやすい職場をめざし、関西で2名の仲間が加入した。春闘要求署名は、組合員の4倍を超えた。引き続き、春闘要求獲得に全力を挙げる。



国松事務次長 (貨物協議会)

貨物会社は「ベースアップは考えられない」との発言があった。認められる内容ではない。今後とも取り組みを強めていく。

21春闘は、コロナ禍の春闘を打破し、職場の声を聞き、ともに頑張ろう。

よるコロナ禍における労働者の権利、同一労働・同一賃金の到達点と課題を学び、春闘におけるベア獲得に向け、奮闘することを確認した。

沖川副委員長 (広島) 本日、早朝宣伝し、利用者に励まされた。西日本は年末手当カットで労働者

家族にとって配慮のないものでした。しかし、中国JRバスは、内部留保から捻出し、社員に充当しました。このことは、内部留保を持っている大企業がやる気になれば切り崩すことができることを証明したことになる。内部留保を切り崩すことが日本経済の特効薬です。



沖川副委員長 (広島)

働き方を春闘では強く求めていかなければならない。各支部では、討論集会、一職場一要求として、現場長申入れを行っている。職場・地域でのままではいけないと思っっている。頑張っていきたい。



倉下委員長 (米子)

春闘討論集会を開催して、春闘情勢を学び、職場実態調査を行いました。人間らしい生活、



そして、駅の無人化・列車減便など安全・サービス低下となっている。私たちは今後も利用しやすい鉄道にしていきたい。

天野委員長 (岡山)

西日本は、高収入を上げてきた時も、先行き不透明として、賃金を抑制してきた。内部留保

2021春闘要求アピール

1. 2021春闘勝利、JR間の格差是正を。
2. シニア社員の労働条件を改善せよ
3. 契約社員の正社員化を
4. JRは安全を守れ
5. 今こそ、内部留保の活用を
6. JRに働くすべての仲間の雇用と生活を守れ

金賃金にあてることはできる。駅の無人化・運転区間短縮などのコスト削減をされている。ローカル線のあり方の見直しなどに言及している。駅の安全軽視、移動の自由を侵害している。許されるべきではない。私たちは、要求するべきものは要求すると、声をあげなければなりません。



山本委員長 (近畿)

保を取り崩せば可能です。改めて要請したい。

グループ会社を含めた社員の大増賃上げ、労働条件の改善は必ずです。内部留

駅の一人体制やホーム上における安全問題を危惧している。最近では旅客が負傷される事故が連続して発生した。利用者や労働者の命が脅かされるような大きな事故が多発している。春闘と安全問題を結

これからの医療の進歩を見据え、「生きるためのがん保険」を新しくします。

アフラックはがん保険契約件数 No.1
平成29年度「インシュアランス生命保険統計等」

NEW/ 女性特有のがんにも手厚い
生きるためのがん保険 Days 1

NEW/ あなたの保険を最新化
生きるためのがん保険 Days 1プラス
すでにアフラックのがん保険にご契約の皆様へ

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)
アベニール株式会社
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

(引受保険会社)
「生きる」を創る。アフラック
東京第二法人営業部
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル19F
TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2658
AF広告課-2017-5036 1月12日